

とっとり住まいる支援事業(令和6年度着工分)

住宅省エネキャンペーンにおける3省連携(新築・リフォーム)

令和6年度補正予算案		
・先進的窓リノベ2025事業(環境省)		1,350億円
・給湯省エネ2025事業(経済産業省)		580億円
・賃貸集合給湯省エネ2025事業(経済産業省)		50億円
・子育てグリーン住宅支援事業(国土交通省・環境省)		2,250億円

目的

2050年カーボンニュートラルの実現に向けて家庭部門の省エネを強力に推進するため、住宅の断熱性の向上に資する措置や高効率給湯器の導入など、新築住宅の省エネ化や、既存住宅の省エネリフォームへの支援を強化することが必要。

国土交通省、経済産業省及び環境省は、3省の連携により、「省エネ住宅の新築を支援する補助制度」、「既存住宅の省エネリフォームを支援する補助制度」のそれぞれについて、各事業を組み合わせることで利用すること(併用)を可能とする。

対象

省エネ住宅の新築における3省連携

※住まいる支援事業の子育て加算あり

対象世帯	対象住宅	補助額
すべての世帯	GX志向型住宅	160万円/戸
子育て世帯等※	長期優良住宅	最大100万円/戸
	ZEH水準住宅	最大60万円/戸

+

蓄電池を設置する場合の補助事業	補助概要	補助率
DR※に対応したリソース導入拡大支援事業(仮)	DRに活用可能な家庭用等蓄電システムの導入を支援	1/3以内

※住まいる支援事業の子育て加算なし

※ ディマンド・リスポンスの略称。電力需要を制御することで、電力需給バランスを調整する仕組み。

補助の併用例

(R6年度着工でGX志向型を使う場合の例)

補助制度	最大補助額	備考
国:GX志向型	160万円	
県:NE-ST	50万円	
県:住まいる	100万円	子育て加算あり
計	310万円	

☒ 当該住宅は【とっとり健康省エネ住宅(NE-ST)】である。性能区分

☒ 当該住宅は【再生可能エネルギー発電設備】を設置する。設備

☒ 当該住宅は【ZEH】である。区分

☐ ZEHでない場合、太陽光発電設備の将来的な設置に備えていること。

☐ 内外装材に県産材を20㎡以上使用する。

☒ 国補助事業の補助利用者である。(子育てエコホーム支援事業、地域型グリーン化事業など)

☐ 国補助利用者のうち、「国の子育て世帯等支援補助金」利用者である。

☐ 国補助利用者のうち、「地域型グリーン化事業補助金」利用者である。

☐ 「地域型グリーン化事業」の補助対象経費に県産材の材料代を含めていない。

☐ 補助

T-GI

太陽光発電(自家設置)

ZEH

他補助金の利用有無

GX志向型はすべての世帯を対象とした補助です。国の子育て世帯等支援補助金には該当しません。(住まいるの子育て加算が利用可能)ただし、認定長期やZEH水準住宅への補助は国の子育て世帯等支援補助金には該当します。(住まいるの子育て加算が利用不可)

とっとり未来型省エネ住宅特別促進事業(NE-ST補助金) ※R7予算検討案

補助要件

<予算額>
R7：50,500千円

以下の要件をすべて満たす住宅が補助の対象となります。

- ☑ NE-ST（とっとり健康省エネ住宅）
- ☑ ZEHまたは将来的な太陽光発電設備の設置に備えた住宅
- ☑ 県内に本店を置く事業者により施工される住宅
- ☑ 県産材を10m3以上または内外装材に20m2以上使用
- ☑ 翌年度の1月末(令和9年1月31日)までに完成する住宅

GX志向型の要件は、(1)～(3)の全てに適合

(1)断熱等級6以上
5・6地域:U_A値0.46以下(T-G1レベル)
4地域:U_A値0.34以下(T-G2レベル)
※4地域は若桜町、日南町、日野町

(2)再生可能エネルギーを除いた
一次エネルギー消費量の削減率が35%以上

(3)再生可能エネルギーを含む
一次エネルギー消費量の削減率が100%以上

補助の併用例

項	国制度 の併用	ZEH 認証	県制度				国制度	最大 補助額
			未来型省エネ住宅特別促進事業 (とっとり健康省エネ住宅への助成)			住まいる支援事業 (県産材活用住宅への助成) ★子育て世帯は加算利用可能 (上限は100万円のまま)	子育てグリーン 住宅支援事業	
			T-G1	T-G2	T-G3			
①	なし	あり	60万円	80万円	100万円	最大100万円★	—	200万円
②	なし	なし	10万円	30万円	50万円	最大100万円★	—	150万円
③	あり(GX志向型)	あり	5万円	15万円	25万円	最大100万円★	160万円	285万円
④	あり(GX志向型以外)	なし	10万円	30万円	50万円	最大100万円	最大100万円※	250万円

- GX志向型は全世帯が対象となる制度ですので、③の場合でも住まいる支援事業の子育て加算を受けられます。
- 子育てグリーン住宅支援事業のうち、子育て世帯向けの長期優良住宅やZEH水準住宅を併用する場合は、従来どおり住まいる支援事業の子育て加算は受けられません。
- GX志向型の補助終了後は①をご活用ください。

※印は子育てグリーン住宅支援事業のうち、長期優良住宅で建替前に居住していた住宅等を除却する場合の補助額。

補助要件

<予算額>
R7：50,000千円

以下の要件をすべて満たす住宅が補助の対象となります。

- ☒ 県の認定 (Re NE-ST・ゾーン改修・国省エネ基準改修)

☒ 翌年度の1月末(令和9年1月31日)までに完成する住宅

- ◆断熱材や開口部の改修工事費が対象

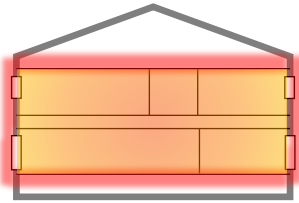
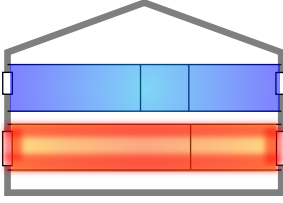
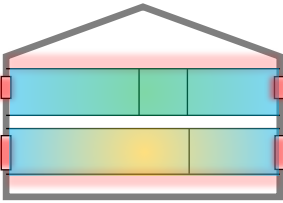
◆補助率1/3

補助の併用例

予算区分	県制度		国制度	最大助成額
補助事業名	健康省エネ住宅改修支援事業	住まいる支援事業	先進的窓リノベ事業	
Re NE-ST	最大150万円	最大50万円	最大200万円	最大400万円
ゾーン改修	最大100万円			最大350万円
国省エネ基準改修	最大50万円			最大300万円

- 国の補助制度等を併用する場合、補助対象経費が重複しないことが要件となります。

改修パターン

パターン	全面改修	ゾーン改修	国省エネ基準改修
イメージ			
概要	家全体を断熱材で包み込む改修	居間や浴室、トイレ、寝室など生活空間を限定した改修	窓など熱が逃げやすい箇所を中心に国の省エネ基準まで改修
断熱性能	0.48(T-G1)	0.48(T-G1断熱範囲のみ)	0.87(国の省エネ基準)